

---

3R推進団体連絡会 第二次自主行動計画

## 2014年フォローアップ報告

---

(2013年度実績)

2014年12月

### 3R推進団体連絡会

ガラスびん3R促進協議会  
PETボトルリサイクル推進協議会  
紙製容器包装リサイクル推進協議会  
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会  
スチール缶リサイクル協会  
アルミ缶リサイクル協会  
飲料用紙容器リサイクル協議会  
段ボールリサイクル協議会

# はじめに

## 第二次自主行動計画フォローアップ報告（2013年度実績）をお届けします

食料品や飲料、日用品など私たちの身近な商品に使われる容器包装は、中身の保護や安全・安心の確保、消費者への情報提供など様々な機能を担っています。環境への適応も大切な機能のひとつであり、循環型社会の形成に向けては容器包装の3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進が求められています。

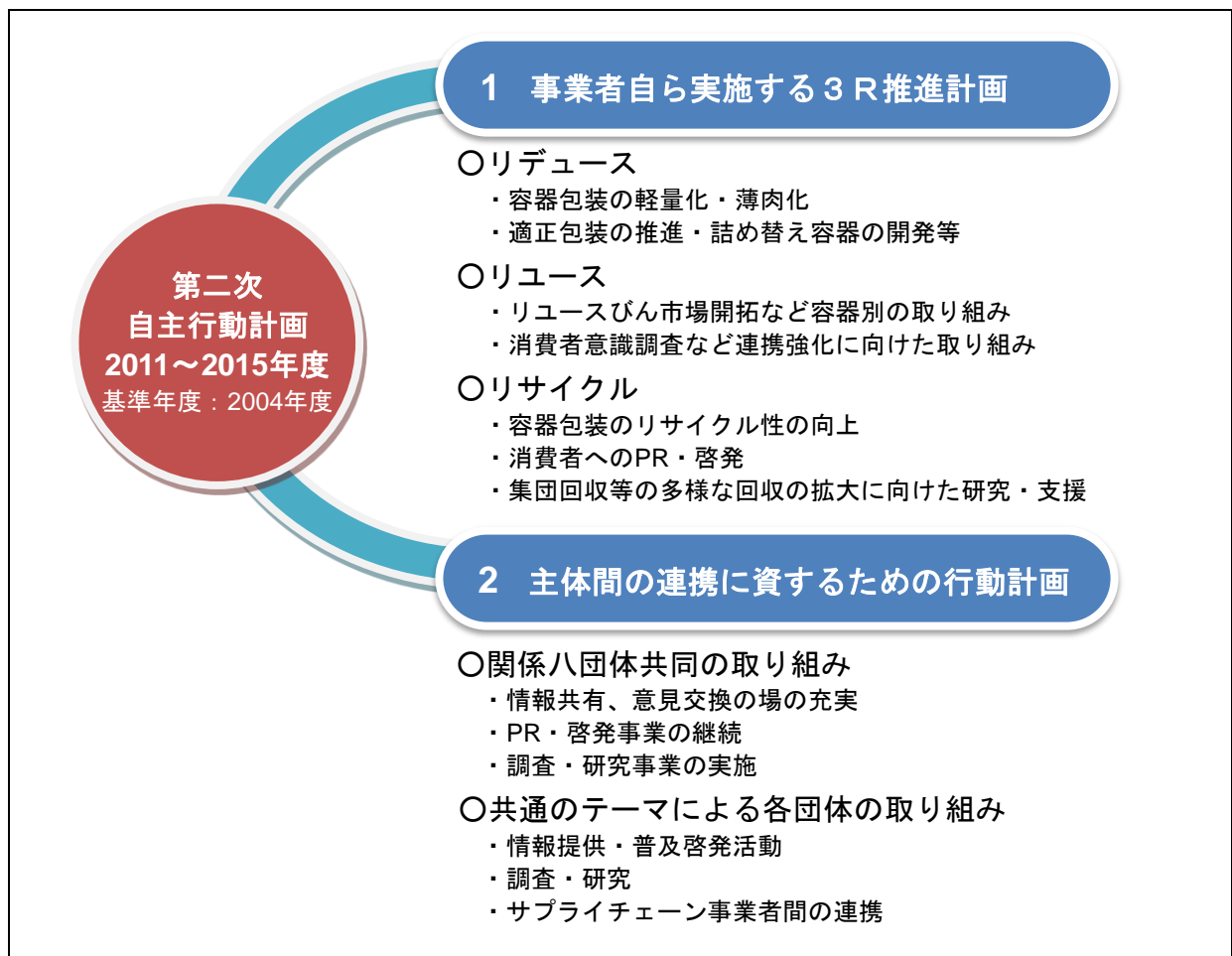
「容器包装3Rのための第二次自主行動計画」は、容器包装の素材に係るリサイクル八団体（以下、「関係八団体」）からなる3R推進団体連絡会（以下、「当連絡会」）が

I. 事業者自らが容器包装3Rの取り組みを推進すること

II. 市民や行政などの関係主体間の連携に資すること

を目的に策定した計画であり、毎年度の進捗状況は翌年12月にフォローアップ報告として公表しています。

本報告書は、2015年度を目標年次とする第二次自主行動計画の3年目にあたる、2013年度の取り組み実績をまとめたものです。



容器包装3Rのための第二次自主行動計画の概要

## 当連絡会の結成からこれまでの経緯、そして今後へ向けて

2000年に完全施行された容器包装リサイクル法は、2006年6月にはじめての改正が行われました。改正に先立つ1年半にわたる産業構造審議会・中央環境審議会での議論の過程で、社団法人（当時）日本経済団体連合会は2005年10月に提言「実効ある容器包装リサイクル制度の構築に向けて」を取りまとめ、事業者の自主的な取り組みが重要であること等を表明しました。

2005年度

3R推進団体連絡会の結成（2005.12）

第一次自主行動計画の公表（2006.3）

これを受けて2005年12月、関係八団体は「3R推進団体連絡会」を結成し、「容器包装リサイクル法の目的達成への提言」と題する提言を行い、事業者の決意をあらためて表明すると共に、翌2006年3月に第一次の自主行動計画を発表しました。

第一次自主行動計画の目標年次は2010年度でした。

2010年度

第二次自主行動計画の公表（2011.3）  
第一次自主行動計画の目標年次

関係八団体が共通の目標を持って事業者自らの取り組みを進めたこと、さらに、関係主体間の連携に資する取り組みの中で、消費者、自治体、関係事業者、NPOや学識経験者等の多大なご協力をいただいたことにより、容器包装3Rの推進に一定の成果があげられました。

2014年度

2013年度実績フォローアップ

2015年度

第二次自主行動計画目標年次

現行の第二次自主行動計画の目標年次である2015年度に向け、事業者としての役割の深化と主体間の連携推進に向け、より一層努力して参る所存です。

最後になりましたが、当連絡会及び構成団体の活動にご理解とご協力を賜りました関係各位に心より御礼申し上げます。

# I 容器包装3Rの2013年度実績

## 1. リデュースの取り組み

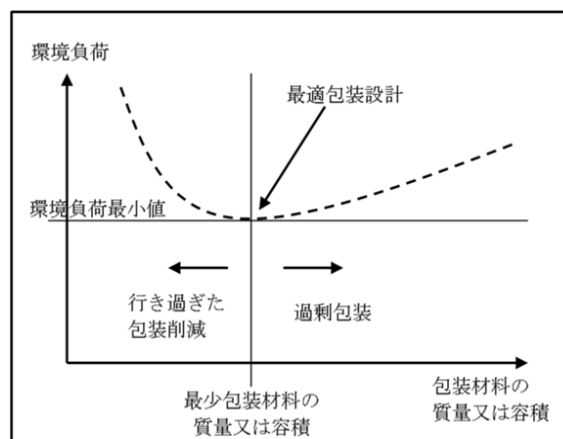
「容器包装の機能と資源の節約の両立」を目指し、着実に取り組みを進めています。

### ■資源使用量削減に向けた様々な取り組み

容器包装には「内容物の保護」「取り扱いの利便性向上」「消費者への情報提供」といった役割があり、こうした機能と環境負荷低減とのバランスにも配慮していく必要があります。このことを前提に、当連絡会を構成する各団体では、それぞれの素材の特性に応じた取り組みを展開しています。

ガラスびん、PETボトル、紙製容器包装では、3Rの考え方も含む環境配慮のための自主設計ガイドラインを策定しています。最も多様な材質、形態を有するプラスチック容器包装においては、環境配慮設計を推進するための自主設計指針の検討を、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会が進めています。

また、容器包装を利用したり製造したりする事業者が活用できるよう、「3R改善事例集」を作成するなど、軽量化や薄肉化等を促進する取り組みが各団体にて行われています。



容器包装の最適化 概念図 (※)

3R改善事例情報の活用例

事業者としては、今後とも消費者・市場との対話を心がけ、機能と環境負荷低減のバランスの取れた包装を推進していく方針です。各団体別の取り組み、例えば包装の適正化の推進や詰め替え容器の開発・普及等、関連企業への周知徹底などの取り組みにつきましては、「各団体の取り組み」をご覧ください。

## ■2013年度のリデュース実績

素材毎の2015年度目標に対する2013年度の実績値は下の表1に示すとおりです。

目標年次である2015年度に向け、容器包装のリデュースは着実に進んでおり、すでに6つの素材が当初目標を達成しました。さらに5素材が目標を上方修正し、取り組みを進めています。

表1 リデュースに関する2013年度実績（2004年度比）

| 素材         | 2015年度目標<br>(2004年度比) (※1) | 2013年度<br>実績 | 2006年度からの<br>累計削減量 | 備考                  |
|------------|----------------------------|--------------|--------------------|---------------------|
| ガラスびん      | 1本当たりの平均重量で2.8%の軽量化        | 1.7%         | 163千トン             |                     |
| PETボトル     | 指定PETボトル全体で15%の軽量化効果       | 14.1%        | 333千トン             | 2015年度目標を10%から上方修正  |
| 紙製容器包装     | 総量で11%の削減                  | 9.6%         | 915千トン             | 2015年度目標を8%から上方修正   |
| プラスチック容器包装 | 削減率で13%                    | 13.0%        | 61.7千トン            |                     |
| スチール缶      | 1缶当たりの平均重量で5%の軽量化          | 5.7%         | 140千トン             | 2015年度目標を4%から上方修正   |
| アルミ缶       | 1缶当たりの平均重量で4.5%の軽量化        | 4.1%         | 60千トン              | 2015年度目標を3%から上方修正   |
| 飲料用紙容器     | 牛乳用500ml紙パックで3%の軽量化 (※2)   | 1.6%         | 419トン              |                     |
| 段ボール       | 1㎡当たりの平均重量で5%の軽量化          | 3.8%         | 1,310千トン           | 2015年度目標を1.5%から上方修正 |

※1 各団体の目標値については、必要に応じて見直しを検討する。

※2 2005年度比。紙パック原紙の仕様レベルで比較



## 2. リユースの取り組み

### 地域循環を目指して～ガラスびんリユースシステムの構築～

#### ■地域に根ざした取り組みでリユースびん入り飲料が続々登場

リユースに最も適した飲料食品容器はガラスびんです。しかし、流通構造や消費者のライフスタイルの変化により、ガラスびんのリユースシステムは経年的な使用量減少に歯止めがかかっていないのが現状です。

ガラスびん3R促進協議会では、持続可能なリユースシステムのひとつとして、消費者・自治体・事業者の連携による地域型システムの構築に取り組んでおり、2013年度は環境省の実証事業における取り組みを進めました。また、ウェブサイト「リターナブルびんポータルサイト」での情報発信にも引き続き取り組んでいます。

**リユースびん入り大和茶**  
「と、わ(To WA)」

奈良県におけるリユースびんを用いた大和茶飲料

リユースびん入り大和茶「と、わ(To WA)」は、奈良県産茶葉を地域で消費し、ごみを出さず、今ある資源を大切に循環させて生まれた。奈良県・生駒市を中心とした地域で、今までのような新しい商品として、奈良の街をめぐっています。

**公共施設での導入**  
本商品の企画やイベント等利用を通じて、リユースの重要性を訴求するため、公共施設内で利用されるペットボトル飲料を置き換え、本商品を導入しました。奈良県・生駒市を中心とした地域で、今までのような新しい商品として、奈良の街をめぐっています。

**受賞経歴**  
平成25年度グリーン購入ネットワーク(GPN)主催  
「第15回グリーン購入大賞」  
生駒市が「優秀賞」を受賞。  
平成25年度リデュース・リユース・リサイクル推進協議会主催  
「3R推進功労者等表彰」  
リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を受賞

**利用状況**  
奈良県内を中心に、現在約55店舗で取り扱っており、今後も普及拡大に向けてアプローチしてまいります。

**地方公共団体**  
奈良市・公益財団法人奈良市生涯学習財団・生駒市・生駒市生涯学習財団(株式会社JTBコミュニケーションズ指定提携)

**ホテル・旅館**  
奈良市内 奈良市日輪荘長生 をはじめとする 計4軒のホテル  
奈良県生駒市 西野荘 湯川屋・湯元 宝刀家・さこやをはじめとする計4軒のホテル  
(計10軒のホテル・旅館で利用開始に及びております)

**Reuse は**  
リユース  
環境にやさしい  
「晴れの国おかもやまち」の低カフェインのほうじ茶、くり返し使えるReuseびんを使用した「カラダ」と「環境」にやさしいほうじ茶飲料です。

岡山県産ほうじ茶  
リユースびん入り  
晴・Re・茶

http://harecha.com

利休さん。  
あなたが生まれた  
大阪に、  
新しいお茶が  
できました。

大阪「茶々」  
くり返し使える  
リユースびんで誕生。

茶葉が違う、  
ボトルが違う。  
茶々

奈良県における  
リユースびんを用いた  
大和茶飲料普及促進事業

岡山県産茶葉を用いた  
リユースびん入り飲料  
の開発事業

大阪リユースびんの開発・  
販売回収・啓発事業

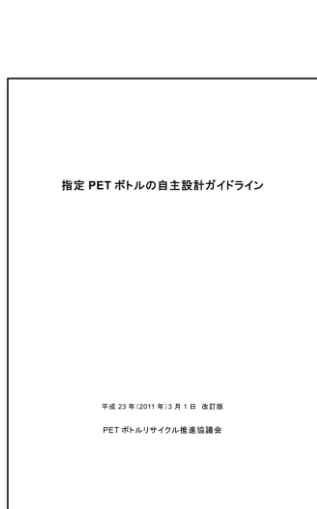
### 3. リサイクルの取り組み

環境配慮設計の推進と安定的かつ多様な再商品化ルートの構築  
～両面から取り組みを進めています～

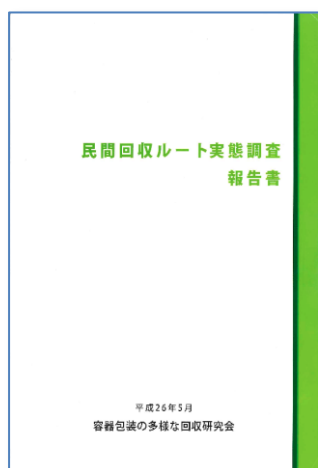
#### ■リサイクル推進に向けた素材ごとの取り組み

素材の組み合わせの簡素化、潰しやすさ・折りたたみやすさの向上など、設計段階で容器包装のリサイクル性を高めるための様々な取り組みが進められています。リデュースと同様、容器包装本来の機能性とのバランスに配慮する必要があるため、各団体では前述の「3R改善事例集」の作成や環境配慮設計ガイドラインの検討、改善などを行っています。

また、使用済み容器包装の安定的かつ多様な再商品化ルートの構築に向け、アルミ缶・スチール缶や飲料用紙容器等の集団回収や拠点回収・店頭回収といった既存の回収ルートにおける各種支援・実証実験、自治体分別収集実態の情報収集と発信、PETボトルの水平リサイクル（ボトルto ボトル）への取り組みなど、様々な取り組みを展開しています。



自主設計ガイドライン



民間回収ルート実態調査



紙製容器包装の組成分析調査



リサイクル団体等への表彰



再利用品のカタログ



回収ボックスの提供

## ■2013年度のリサイクル実績

素材毎の2015年度目標に対する2013年度のリサイクル実績値は、表2に示すとおりです。

8素材中5素材が当初目標を達成しており、2素材が目標を上方修正しています。

目標達成に向け、引き続き素材ごとの取り組みを展開すると共に、リサイクルフローの捕捉率の向上等にも取り組んでいきます。

表2 リサイクルに関する2013年度実績

| 素材             | 指標（※1）              | 2015年度目標         | 2013年度実績         | 備考                     |
|----------------|---------------------|------------------|------------------|------------------------|
| ガラスびん          | リサイクル率<br>(カレット利用率) | 70%以上<br>(97%以上) | 67.3%<br>(99.0%) |                        |
| PETボトル         | リサイクル率              | 85%以上            | 85.8%            |                        |
| 紙製容器包装         | 回収率                 | 25%以上            | 23.5%            | 2015年度目標を<br>23%から上方修正 |
| プラスチック<br>容器包装 | 再資源化率               | 44%以上            | 44.4%            |                        |
| スチール缶          | リサイクル率              | 90%以上            | 92.9%            | 2015年度目標を<br>85%から上方修正 |
| アルミ缶           | リサイクル率              | 90%以上            | 83.8%            |                        |
| 飲料用紙容器         | 回収率                 | 50%以上            | 44.6%            |                        |
| 段ボール           | 回収率                 | 95%以上            | 99.4%            |                        |

※1 指標の定義は次ページ参照。各団体の目標値については、必要に応じて見直しを検討する。

### 補足：リサイクルの指標について

2002年に経済産業省設置の委員会が策定した「資源循環指標ガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）では、リサイクルを評価する指標として、「回収率」（使用済製品の回収された割合）、「再資源化率」（回収された製品の内、再資源化された割合）、「回収・再資源化率」（回収率×再資源化率）をあげています。

当連絡会では、ガイドラインを踏まえ回収量や再資源化量の把握に努めると共に、必要に応じて既存の指標の見直しを行ってきました。表2の中で、指標が「リサイクル率」となっているものは、ガイドラインの定義する「回収・再資源化率」にほぼ準拠しています。また、回収ルートや再資源化ルートが多岐にわたるなどして「回収・再資源化率」の把握が困難な素材では、回収率や再資源化率といった指標を用いています。

各団体とも継続的にデータの補足範囲の拡大及び精度の向上に向けた取り組みを進めています。したがって、今後の自主行動計画の見直しにおいて、目標に用いる指標を変更する可能性があります。なお、第二次自主行動計画の2015年度目標値については、前倒しで目標達成がなされた場合などにおいて適宜見直しを図っていきます。表3に素材ごとのリサイクル指標の定義一覧を示します。



表3 リサイクルに関する指標の定義一覧

| 素 材        | 指標の定義及び備考                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ガラスびん      | $\text{リサイクル率} = \frac{\text{再生利用目的で利用事業者}(\ast 1)\text{に引渡されたカレット総重量}}{\text{ガラスびん国内出荷総重量 (出荷量+輸入量-輸出量)}}$ $\text{カレット利用率} = \frac{\text{ガラスびんの原料に利用されるカレット総投入量}}{\text{ガラスびん生産量}}$ <p>※1 ガラスびん製造メーカー+その他用途事業者</p>                                      |
| PETボトル     | $\text{リサイクル率} = \frac{\text{リサイクル量 (国内再資源化量}\ast 1\text{+海外再資源化量}\ast 2\text{)}}{\text{国内PETボトル販売量}}$ <p>※1 国内再資源化量=国内向け回収量×再資源化率(フレークまたはペレット)<br/>                 ※2 海外再資源化量はフレーク又はペレット換算で、PET推進協調査から算出</p>                                           |
| 紙製容器包装     | $\text{回収率} = \frac{\text{紙製容器包装の回収実績}(\ast 1)}{\text{紙製容器包装の家庭からの排出量}(\ast 2)}$ <p>※1 回収物の組成分析調査、市町村アンケート調査より行政回収量・集団回収量を推定<br/>                 ※2 家庭からの排出量モニター調査より推定</p>                                                                              |
| プラスチック容器包装 | $\text{再資源化率} = \frac{\text{再商品化量}(\ast 1) + \text{店頭回収など自主的に回収した量}(\ast 2)}{\text{排出見込み量}(\ast 1)}$ <p>今後様々なリサイクル手法が用いられる可能性が高いことから、分子に現在把握可能な自主的な回収量を加え、指標の名称を再資源化率としている。<br/>                 ※1 公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会公表値 ※2 実測値</p>                   |
| スチール缶      | $\text{リサイクル率} = \frac{\text{国内鉄鋼会社等によるスチール缶(Cプレス・Cシュレッダー等)の購入量}(\ast 1)}{\text{スチール缶(食缶・該当18L缶・一般缶)の国内消費量(出荷量+輸入量-輸出量)}}$ <p>※1 購入量は、アルミ蓋・水分・異物等を除いて鉄鋼メーカーが購入利用した重量</p>                                                                                 |
| アルミ缶       | $\text{リサイクル率} = \frac{\text{再生地金等の製造に使用済みアルミ缶を利用した重量}(\ast 1)}{\text{国内で出荷された缶重量(塗料を除く)}}$ <p>※1 分子は二次合金メーカーの工場入口トラックスケールを元に、組成率を加味して算出</p>                                                                                                             |
| 飲料用紙容器     | $\text{回収率} = \frac{\text{国内飲料用紙パック回収量}}{\text{飲料用紙パック原紙使用量}}$ <p>※1 産業損紙・古紙を含む</p>                                                                                                                                                                      |
| 段ボール       | $\text{回収率} = \frac{\text{段ボール古紙実質回収量}(\ast 1)}{\text{段ボール原紙消費量}(\ast 2) + \text{輸出入商品用}(\ast 3)}$ <p>※1 回収された段ボール古紙に含まれる段ボール以外の古紙及び段ボールに付着した糊の重量を除いて計算したもの<br/>                 ※2 段ボール工場における段ボール原紙消費量<br/>                 ※3 輸出入商品を梱包する段ボールの入超推定量</p> |

## II 連携のための共同の取り組み

各主体との意見交換や市民との協働、展示会やイベントでの普及啓発等、多様な取り組みを展開しました。

関係主体間の連携に資するため、当連絡会では「調査・研究」「各主体との交流・意見交換」「普及・啓発」の3本の柱に沿って、継続的な取り組みを進めてきました（表4）。次ページより、2013年12月から2014年11月までの取り組みの成果を紹介します。

表4 主体間連携のための共同の取り組みの実施状況

| 年 度          | 2006           | 2007        | 2008      | 2009             | 2010         | 2011         | 2012         | 2013         | 2014                   |          |
|--------------|----------------|-------------|-----------|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------------------|----------|
| 調査・研究        |                |             |           |                  | 容器包装3R制度研究会  |              |              |              |                        |          |
|              |                |             |           | 消費者意識調査          |              | 消費者意識調査      |              | 公開ヒアリング      | 報告書のまとめ                |          |
| 各主体との交流・意見交換 |                |             |           |                  |              |              |              | 各主体との意見交換会   |                        |          |
|              |                | 3Rリーダー交流会   |           |                  |              | 地域でのリーダー育成   |              |              |                        |          |
|              |                |             |           | 小冊子「リサイクルの基本」を作成 | 「リサイクルの基本」完成 | 川崎市でのワークショップ | 川崎市でのワークショップ | 川口市でのワークショップ | 川口市、国分寺市、相模原市でのワークショップ |          |
|              | 容器包装3R連携市民セミナー |             |           |                  |              |              |              |              |                        |          |
|              | 東京都            | 北九州市<br>川崎市 | 京都市       | 仙台市              | 名古屋市         | 福岡市          | 札幌市          | 東京都          | 長野市、松山市、名古屋市(予定)       |          |
|              | 容器包装3R推進フォーラム  |             |           |                  |              |              |              |              |                        |          |
|              | 横浜市            | 神戸市         | 東京都       | 京都市              | さいたま市        | 名古屋市         | 仙台市          | 川崎市          | 東京都                    |          |
|              |                |             | マスコミとの懇談会 |                  |              |              |              |              |                        |          |
| 普及・啓発        | 3R活動推進全国大会への出展 |             |           |                  | 東京国際包装展出展    |              |              | 3R活動推進全国大会出展 |                        |          |
|              |                |             |           |                  |              |              |              | 東京国際包装展出展    |                        |          |
|              | エコプロダクツ展への出展   |             |           |                  |              |              |              |              |                        |          |
|              | 共通ポスター作成       |             | ホームページ開設  | 小冊子「リサイクルの基本」配布  |              |              |              |              |                        | 啓発用パンフ作成 |
|              |                | AC支援による啓発事業 |           |                  |              |              |              |              |                        |          |

# 1. 各主体との交流と意見交換

## ■忌憚のない意見交換を通じ、様々な角度から各主体の相互理解を深めていく ～意見交換会「容器包装3R交流セミナー」の開催～

容器包装の3R推進、今後のあり方や市民・自治体との信頼や連携の強化など、各主体との意見交換や交流を深めるため、当連絡会では3R活動推進フォーラムとの共催で「容器包装の3Rに関する市民・自治体等との意見交換会」を2013年度より開催しています。

2014年度は「容器包装3R交流セミナー」と題し、長野市（2014年7月25日）、松山市（11月7日）でそれぞれ41名、40名の参加者を得て、「分別収集・再商品化」「事業者の3Rの取り組み」「情報共有のあり方」「環境配慮設計」など多様なテーマで意見交換を行いました。第3回は2015年2月20日に名古屋市で開催を予定しています。



長野市（左）、松山市（右）での意見交換会の様子

## ■川口市版リサイクルの基本が完成～「地域版」ワークショップ～

2007年度より実施してきた消費者リーダーとの交流会では、ひとつの成果として3R啓発小冊子「リサイクルの基本」が完成し、全国の自治体等でご活用いただいています。次のステップでは『「地域版」リサイクルの基本』を地域住民と共に作り上げるプロジェクトがスタートし、まず2012年度に「かわさき スマートリサイクル ごみの分別・資源化ガイド」が完成しました。

2013年度からは、川口市版「リサイクルの基本」づくりに向け、川崎市・川口市両市のメンバーの意見交換、さらには川口市民・行政、消費者リーダー、当連絡会が協働して『「地域版」リサイクルの基本』づくりに取り組んできました。

そして2014年10月、『きらり川口リサイクル ごみまるが教える！7つのポイント』が完成しました。「ごみまる」は川口市のごみ減量キャンペーンキャラクターです。

**ごみをきちんと分けてリサイクルしないと色が変わっちゃうぞ！**



川口市版リサイクルの基本

ご当地キャラクターごみまるを用いて川口市らしいオリジナルな「リサイクルの基本」となりました。



川口市版「リサイクルの基本」編集会議



川口市リサイクルプラザでの  
一般市民によるリーフレットへの  
シール投票

### ■相模原市・国分寺市で市民との協働の輪が広がる～3R市民リーダー育成プログラム～

「3R市民リーダー育成プログラム」は、都内の消費者リーダーの方々が2011年度から検討し作り上げた、一般消費者への「リサイクル」の伝え方やイベント等で使える講座プログラムを、地域の3R市民リーダー（以下、「3Rリーダー」）の方々にご活用いただいたり、リーダー育成に役立てたりしてもらおうという事業です。

今年度はNPO法人持続可能な社会を作る元気ネットを事務局として、相模原市、国分寺市にご協力いただき取り組みを進めているところです。

相模原市では、教員志望の若い新規3Rリーダー、先輩3Rリーダー、相模原市職員、そして当連絡会メンバーで数回の会合を開き、3Rに関する学習、イベントにおける発表内容等を検討しました。そして、10月19日に開催された相模原市リサイクルフェアでは、3R市民劇場（寸劇）と「リサイクルクイズ de ビンゴ」を発表、続く10月29日に同じく相模原市で開催された「3R推進全国大会」ではブース出展を行うと共に、シンポジウム第Ⅱ部で壇上にて3R市民劇場を発表しました。



相模原市リサイクルフェアでの発表（左）と3R全国大会での発表（右）



国分寺市は、廃棄物減量等推進員を公募市民に委嘱する取り組みを以前から行っていますが、今年度の新規3Rリーダー育成に「3R市民リーダー育成プログラム」をご活用いただく形で、3R講座のプログラム作成や「国分寺環境まつり」への参加などを協働で検討を進めています。

その他、東京都中央区や世田谷区における出張講座（リサイクルクイズ de ビンゴ）も行いました。



国分寺市での取り組みの様子

### ■各主体の先進的な取り組みを共有～容器包装3R推進フォーラム～

「容器包装3R推進フォーラム」は、第一次自主行動計画の初年度から毎年度開催地を変えつつ開催している、息の長い取り組みです。毎回のフォーラムには自治体関係者や市民団体、地域住民の方々等がご参加いただいております。容器包装3Rと分別収集の先進的な取り組み事例の学習、それらに係わる情報交換・議論等のプログラムを通じ、消費者・自治体・事業者がどのような連携の形を目指したらよいかを話し合い、方向性を共有していくことを目指しています。

通算で8回目となる2013年度のフォーラムは、リデュース・リユース・リサイクルの各分野における関係各主体の先進的な取り組み事例の情報共有をテーマに、川崎市産業振興会館にて2014年2月20日に開催されました。会場には約140人の参加者が訪れ、国の政策動向や各種先進事例の報告、「リデュース」「リユース」「リサイクル」の各セッションで熱心な討議等が繰り広げられました。



フォーラムにおける意見交換の様子



## 2. 普及・啓発

### ■改訂版を作成～小冊子「リサイクルの基本」、及び

### 啓発パンフレット「未来へとつながる3R社会をめざして」～

小冊子「リサイクルの基本」はホームページで公開しているほか、ご希望の自治体、団体等には無償配布しており、2014年11月までに累計配布部数は約1万部に達しました。なお、今年度はVer.2の最新版を作成、データの更新と表記の見直しを図りました。

また、当連絡会の紹介と容器包装3Rの基礎情報を掲載した啓発パンフレット「未来へとつながる3R社会をめざして」も、同様に改訂を行いました。

両冊子とも、本連絡会ホームページよりダウンロード可能です。



啓発パンフレット



小冊子 リサイクルの基本

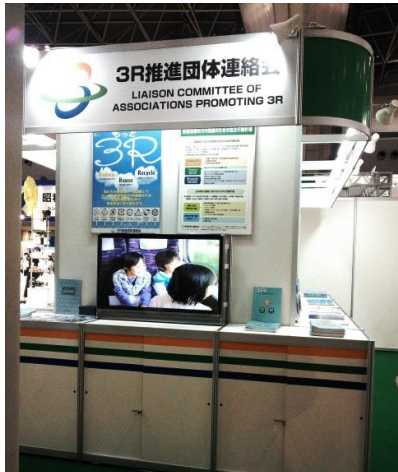
### ■様々なイベントでパネル等を展示・情報発信

2014年11月までに、

- ・八王子市リサイクルプラザ「あったかホール」(2月)
- ・10月7日から10日に東京ビッグサイトで開催された2014東京国際包装展 (TOKYO PACK 2014)
- ・10月23日に長岡市で開催された(公社)全国都市清掃会議秋季評議員会
- ・10月29日に相模原市で開催された第9回3R推進全国大会

といったイベント等でパネルの出展やパンフレットの配布等を行いました。

また、2014年12月11～13日に東京ビッグサイトで開催される「エコプロダクツ2014」では、当連絡会を構成する八団体が共同出展を行います。それぞれの団体がブース出展を行うほか、連絡会の共通ブースでは、連絡会としての取り組みのパネル展示等を行い、八団体を巡るクイズラリーも行います。(写真はエコプロダクツ2013のもので)



TOKYO PACK 2014への出展



第9回3R推進全国大会への出展



エコプロダクツ2013への出展

## ■ ホームページによる情報発信

当連絡会では、ホームページにおいてこれまでの活動の記録、フォローアップ報告などの情報を掲載しています (<http://www.3r-suishin.jp/>)。

各種パンフレット類、過去の自主行動計画フォローアップ報告、連携の取り組み結果などの各種データもご利用いただけます。



3R推進団体連絡会ホームページ

# III 各団体の取り組み

## 1. ガラスびん3R促進協議会

### ■さらなる軽さにチャレンジするガラスびん

利便性ニーズと環境負荷低減ニーズに対応して、びんの軽量化が進行中です。中身メーカーとガラスびんメーカーの連携により、従来びんの軽量化とともに究極の軽量びんに入った新商品も登場しています。

#### グランドキリン(330ml)

#### キリン株式会社(キリンビール株式会社)

##### ■商品について

2012年6月から、セブンイレブン限定で、2013年10月からは全国のコンビニエンスストアで、ワンウェイびんに入ったプレミアムビールの「グランドキリン」を発売。国内最軽量の140g※となっています。

##### ■軽量化について(工夫したところ等)

とくに軽量化するにあたりカブラの部分を工夫し、全体の肉厚を薄くして、中身への遮光性の問題を克服するために黒い色調を採用しました。またこれまでにない最軽量のびんを製造するために、適切な質量を各セクションでコントロールできる設備を導入し、精度の高い成形を実現しました。検査工程でも新たな自動検査機を導入して品質精度を確保しました。



※330ml発泡性カテゴリーにおいて  
(2014年11月キリンビール社調べ)

|                                          | 従来     | 軽量化後   |
|------------------------------------------|--------|--------|
| びんの質量<br>キャップ・ラベル<br>中身を含まない<br>1本当たりの質量 | 170g   | 140g   |
| びんの高さ                                    | 194 mm | 165 mm |

#### アヲハタ55ジャム(165g・170g)

#### アヲハタ株式会社

##### ■商品について

「アヲハタ55ジャム」は、フルーツの自然な香りと美味しさを大切に甘さの少ない低糖度ジャムです。

##### ■軽量化について(工夫したところ等)

先に姉妹商品のアヲハタ・スーパーフルーティ35で、広口小型びん分野では世界で初めて“超軽量びん”の実用化に成功し、軽量化技術を確立しました。さらに、本商品では軽量化技術を応用しユニバーサルデザインも食品業界で先駆けて導入しています。

従来びんより2度のリニューアルを行い、現行びん(ユニバーサルデザイン)は107gの軽量びんとなっています。



|                                          | 従来      | 軽量化後    | 現行<br>(ユニバーサルデザイン) |
|------------------------------------------|---------|---------|--------------------|
| びんの質量<br>キャップ・ラベル<br>中身を含まない<br>1本当たりの質量 | 120g    | 102g    | 107g               |
| びんの高さ                                    | 84.7 mm | 84.6 mm | 84.0 mm            |

軽くなったびん入り商品を紹介している当協議会のウェブサイト(2013年度掲載商品)

<<http://www.glass-3r.jp/consumer/index1.html>>

びんの軽量化について広く理解していただくために、軽くなったびん入り商品を紹介する「ウェブサイト」、びんの重量比較ができるイベントなどで積極的にアピールしました。



エコプロダクツ展におけるびんの軽量化比較



## ■地域に密着して循環するびんリユースシステム

びんリユースの拡大には、消費者・自治体・事業者との連携した取り組みが必須です。

2013年度は環境省のびんリユースを促進する実証事業において、自治体や事業者等の多様な関係者が連携した地域型びんリユースシステムの構築に取り組みました。

十万馬力 新宿サイダー      福井県池田町 「いけソーダ」      奈良の大和茶 「と、わ(To WA)」      大阪撰茶 「茶々」      岡山県産ほうじ茶 「晴・Re・茶」



地域に根差したびんリユースの取り組みで、「Rドロップス」びん入り飲料が続々登場

また、2009年2月に立上げたウェブサイト「リターナブルびんポータルサイト」にて、全国各地域で展開されるびんリユースの取り組みの紹介をおこない、リユース推進活動の「見える化」と情報発信に努めました。



ウェブサイト「リターナブルびんポータルサイト」<<http://www.returnable-navi.com/>>





## ■ ガラスびん 3R の普及と啓発に向けての取り組みの推進

2012年度の「びんtoびん」リサイクル動画制作に引き続き、2013年度は「また会おうよ! リターナブルびん」リユース動画を制作し、当協議会のウェブサイトならびにYouTubeで公開し、情報発信に努めました。



「めぐりめぐるリユースストーリー また会おうよ! リターナブルびん」をウェブサイトで公開  
<<http://www.glass-3r.jp/>>

「エコプロダクツ2013」に出展し、ガラスびんの3Rを啓発する展示のほかに、リユースをテーマに、リターナブルびんの展示やクイズを実施しました。びんリユースのムービー「めぐりめぐるリユースストーリー また会おうよ! リターナブルびん」を上映しました。



当協議会の展示風景



びんリユースを紹介するコーナー

# IV 資料

## 1. 数表

### ■リデュース実績総括表

#### 第一次自主行動計画（2006～2010年度）

| 素材         | 2010年度目標<br>(2004年度比)           | 実績                            |                     |                       |                       |                                                             | 2010年度<br>カッコ内は資源節約<br>量の5年間累計 |
|------------|---------------------------------|-------------------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------------|
|            |                                 | 2006年度                        | 2007年度              | 2008年度                | 2009年度                |                                                             |                                |
| ガラスびん      | 1本あたりの平均重量を1.5%軽量化する            | 1.0%                          | 1.3%                | 1.4%                  | 1.8%                  | 1.7%軽量化<br>(92.2千t)                                         |                                |
| PETボトル     | 主な容器サイズ・用途ごとに1本あたりの平均重量を3%軽量化する | 主な容器サイズ・用途15種の内9種で0.2～8.0%軽量化 | 15種中8種で0.9～10.0%軽量化 | 15種中13種で0.1%～11.0%軽量化 | 15種中13種で0.3%～15.0%軽量化 | 15種中13種で0.2～19%の軽量化。9種で3%の目標を達成。全体としての軽量化率で7.6%。<br>(157千t) |                                |
| 紙製容器包装     | 2%削減する                          | 0.8%増加                        | 0.1%増加              | 0.5%削減                | 10.7%削減               | 6.7%削減<br>(358千t)                                           |                                |
| プラスチック容器包装 | 3%削減する                          | 1.3%削減                        | 5.8%削減              | 7.9%削減                | 9.1%削減                | 9.8%削減<br>(51.4千t)                                          |                                |
| スチール缶      | 1缶あたり平均重量で2%軽量化する               | 1.0%                          | 1.1%                | 2.0%                  | 3.4%                  | 4.1%軽量化<br>(49.4千t)                                         |                                |
| アルミ缶       | 1缶あたり平均重量で1%軽量化する               | 0.7%                          | 0.5%                | 0.8%                  | 2.1%                  | 2.5%軽量化<br>(6.9千t)                                          |                                |
| 飲料用紙容器     | 重量を平均1%軽量化する                    | 現状維持                          | 現状維持                | 現状維持                  | 現状維持                  | 現状維持                                                        |                                |
| 段ボール       | 1㎡あたりの重量を1%軽量化する                | 0.6%                          | 0.7%                | 0.9%                  | 1.4%                  | 1.8%軽量化<br>(529千t)                                          |                                |

第二次自主行動計画（2011～2015年度）

| 素材         | 2015年度目標<br>(2004年度比) | 実 績<br>(カッコ内は2006年度からの累積削減量)  |                   |                    |
|------------|-----------------------|-------------------------------|-------------------|--------------------|
|            |                       | 2011年度                        | 2012年度            | 2013年度             |
| ガラスびん      | 1本当たりの平均重量で2.8%の軽量化   | 2.0%<br>(117千トン)              | 2.1%<br>(143千トン)  | 1.7%<br>(163千トン)   |
| PETボトル     | 指定PETボトル全体で15%の軽量化効果  | 10.5%<br>(231千トン)             | 13.0%<br>(323千トン) | 14.1%<br>(333千トン)  |
| 紙製容器包装     | 総量で11%の削減             | 6.9%<br>(504千トン)              | 9.9%<br>(711千トン)  | 9.6%<br>(915千トン)   |
| プラスチック容器包装 | 削減率で13%               | 10.4%<br>(52.5千トン)            | 11.5%<br>(58千トン)  | 13.0%<br>(61.7千トン) |
| スチール缶      | 1缶当たりの平均重量で5%の軽量化     | 4.7%<br>(95千トン)               | 4.9%<br>(115千トン)  | 5.7%<br>(140千トン)   |
| アルミ缶       | 1缶当たりの平均重量で4.5%の軽量化   | 3.0%<br>(42.5千トン)             | 3.8%<br>(53千トン)   | 4.1%<br>(60千トン)    |
| 飲料用紙容器     | 牛乳用500ml紙パックで3%の軽量化   | 0.3%<br>(41トン)<br>(2011年9月から) | 1.0%<br>(165トン)   | 1.6%<br>(419トン)    |
| 段ボール       | 1㎡当たりの平均重量で5%の軽量化     | 2.5%<br>(675千トン)              | 3.6%<br>(985千トン)  | 3.8%<br>(1,310千トン) |

## ■リサイクル実績総括表

### 第一次自主行動計画（2006～2010年度）

| 素材             | 指標                  | 2010年度<br>目標     | 実 績                   |                       |                       |                            |                            |
|----------------|---------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|
|                |                     |                  | 2006年度                | 2007年度                | 2008年度                | 2009年度                     | 2010年度                     |
| ガラスびん          | カレット利用率<br>(リサイクル率) | 91%以上<br>(70%以上) | 93.9%<br>(60.4%)      | 95.5%<br>(63.9%)      | 96.9%<br>(65.0%)      | 97.5%<br>(68.0%)           | 96.8%<br>(67.1%)           |
| PETボトル         | 回収率                 | 75%以上            | 66.3%                 | 69.2%                 | 78.0%                 | 77.5%                      | 72.1%                      |
| 紙製容器包装         | 回収率                 | 20%以上            | 15.2%<br>(行政回収<br>のみ) | 15.4%<br>(行政回<br>収のみ) | 14.2%<br>(行政回<br>収のみ) | 19.1%<br>(内、行政回<br>収13.9%) | 20.3%<br>(内、行政回収<br>13.9%) |
| プラスチック<br>容器包装 | 収集率                 | 75%以上            | 54.0%                 | 58.1%                 | 59.0%                 | 60.4%                      | 60.1%                      |
| スチール缶          | リサイクル率              | 85%以上            | 88.1%                 | 85.1%                 | 88.5%                 | 89.1%                      | 89.4%                      |
| アルミ缶           | リサイクル率              | 90%以上            | 90.9%                 | 92.7%                 | 87.3%                 | 93.4%                      | 92.6%                      |
| 飲料用紙容器         | 回収率                 | 50%以上            | 37.4%                 | 41.1%                 | 42.6%                 | 43.5%                      | 43.6%                      |
| 段ボール           | 回収率                 | 90%以上            | 92.2%                 | 94.4%                 | 95.1%                 | 100.6%                     | 99.3%                      |

### 第二次自主行動計画（2011～2015年度）

| 素材             | 指標                  | 2015年度目標         | 実 績              |                   |                  |
|----------------|---------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|
|                |                     |                  | 2011年度           | 2012年度            | 2013年度           |
| ガラスびん          | リサイクル率<br>(カレット利用率) | 70%以上<br>(97%以上) | 69.6%<br>(95.7%) | 68.1%<br>(100.3%) | 67.3%<br>(99.0%) |
| PET ボトル        | リサイクル率              | 85%以上            | 85.8%            | 85.0%             | 85.8%            |
| 紙製容器包装         | 回収率                 | 25%以上            | 20.7%            | 23.0%             | 23.5%            |
| プラスチック<br>容器包装 | 再資源化率               | 44%以上            | 40.6%            | 40.9%             | 44.4%            |
| スチール缶          | リサイクル率              | 90%以上            | 90.4%            | 90.8%             | 92.9%            |
| アルミ缶           | リサイクル率              | 90%以上            | 92.5%            | 94.7%             | 83.8%            |
| 飲料用紙容器         | 回収率                 | 50%以上            | 42.9%            | 44.2%             | 44.6%            |
| 段ボール           | 回収率                 | 95%以上            | 96.2%            | 98.4%             | 99.4%            |

## 2. 各団体連絡先一覧

### ガラスびん3R促進協議会（1996年11月19日設立 2014年11月19日組織名称改定）

東京都新宿区百人町3-21-16日本ガラス工業センター1階

TEL：03-6279-2577 FAX：03-3360-0377 ホームページ：<http://www.glass-3r.jp>

### PETボトルリサイクル推進協議会（1993年6月22日設立）

東京都中央区日本橋小伝馬町7-16ニッケイビル2階

TEL：03-3662-7591 FAX：03-5623-2885 ホームページ：<http://www.petbottle-rec.gr.jp>

### 紙製容器包装リサイクル推進協議会（1998年2月5日設立）

東京都港区西新橋1-1-21 日本酒造会館3F

TEL：03-3501-6191 FAX：03-3501-0203 ホームページ：<http://www.kami-suisinkyu.org/>

### プラスチック容器包装リサイクル推進協議会（1998年4月15日設立）

東京都港区西新橋1-1-21日本酒造会館3F

TEL：03-3501-5893 FAX：03-5521-9018 ホームページ：<http://www.pprc.gr.jp>

### スチール缶リサイクル協会（1973年4月17日設立）

東京都中央区銀座7-16-3 日鉄木挽ビル1階

TEL: 03-5550-9431 FAX: 03-5550-9435 ホームページ：<http://www.steelcan.jp>

### アルミ缶リサイクル協会（1973年2月7日設立）

東京都中央区銀座4-2-15塚本素山ビル6F

TEL：03-6228-7764 FAX：03-6228-7769 ホームページ：<http://www.alumi-can.or.jp>

### 飲料用紙容器リサイクル協議会（1997年3月18日設立）

東京都千代田区九段北1-14-19乳業会館4F

TEL：03-3264-3903 FAX：03-3261-9176 ホームページ：<http://www.yokankyo.jp/InKami/>

### 段ボールリサイクル協議会（2000年3月7日設立）

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館 全国段ボール工業組合連合会内

TEL：03-3248-4853 FAX：03-5550-2101 ホームページ：<http://www.danrikyo.jp>

3R推進団体連絡会ホームページ：<http://3r-suishin.jp/>